

『主婦之友』誌に見る主婦と住宅の関わりあい

一大正期から昭和前半期までの住宅記事を通してー

建築史 中谷礼仁研究室
アドルフ・ロース翻訳出版ゼミ
1X13A187-5 渡邊慧子

目次構成

【序論】

第0章 序論

- 0-1. 研究背景
- 0-2. 研究目的
- 0-3. 研究方法
- 0-4. 既往研究

【本論】

第1章 『主婦之友』誌と住宅記事

- 1-1. はじめに
 - 1-1-1. 『主婦之友』誌と生活改善
 - 1-1-2. 婦人雑誌での生活改善
- 1-2. 「住宅記事」記事数と割合
- 1-3. 執筆者の割合
- 1-4. 記事主題の変遷
- 1-4. 小結

第2章 建築家・専門家・記者による「教示記事」

- 2-1. はじめに
- 2-2. 建築家
- 2-3. 記者
- 2-4. 建築家以外の専門家
- 2-5. 小結

第3章 主婦による「伝達記事」

- 3-1. はじめに
- 3-2. 建築資金
- 3-3. 設計思想・建築経験
- 3-4. 小結

第4章 「双方向型記事」

- 4-1. はじめに
- 4-2. 住宅相談
- 4-3. 座談会
- 4-4. 設計案懸賞
- 4-5. 小結

第5章 考察

- 5-1. はじめに
- 5-2. 主婦と「住宅記事」
- 5-3. 大衆雑誌における「住宅記事」

【結論】

第6章 結論

第0章 序論

0-1. 研究背景

『主婦之友』
1917年(大正6年)創刊。大衆
婦人雑誌。
女性の生活改善意識の向上を背
景に持つ。



図1 『主婦之友』
1928年2月号表紙

・大正期や戦後のみを見た研究、
あるいは生活学における研究が
主流。

0-2. 研究目的

大正後期から昭和まで、圧倒的な発行部数をほこり、
全国の広い層の女性、特に主婦に読まれていた『主婦
之友』誌上の住宅記事を通して、情報を受け取る・提供
する・参加するという3つの立場の「主婦」の住宅作り
に対する日本の近代住宅史において主婦と住宅のか
わりを見る。

0-3. 研究方法

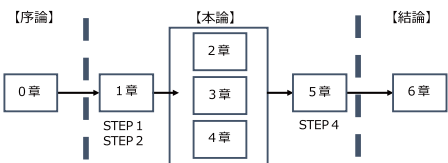


図2 本論文の構成

【STEP1】(1章)

『主婦之友』(計30巻)(1917年3月号～1946
年12月号)に掲載された建築にまつわる記事(※
1)を探索。

【STEP2】(1章)

住宅、生活用品に対する発言が見られる記事(※
2)を抽出。

※1＝「建築記事」、※2＝「住宅記事」と定義。

【STEP3】(2～4章)

抽出した記事を以下の3種に分けて記述内容を見
る。

- ①建築家・主婦之友社の記者・建築以外の専門
家による教示記事
→記事の主題・観点
 - ②読者である主婦によって書かれた伝達記事
→「主婦」の住宅に対する意見・設計に対す
る思想を見る
 - ③建築家・専門家と読者による双方向型記事
- 【STEP4】(5章)
考察

0-4. 既往研究

(1)『主婦之友』誌と住宅

・尾川 幸奈、安原 盛彦、崎山 俊雄
『大正期～昭和前半期の『主婦之友』における住宅関連
記事について』(一般社団法人日本建築学会, 2007)
記事の変遷概要。主婦の視点は見られない。

(2)主婦と住宅

・久保加津代
『女性雑誌に住まいづくりを学ぶ 大正デモクラシー
期を中心に』(ドメス出版, 2002)

- (1)住宅に関して、大衆婦人雑誌の読者である「主婦」の
視点が明らかにされていない。
- (2)住宅記事の概観はされているが、その特性を「主婦」
の視点で見る。

第1章 『主婦之友』誌における「住宅記事」

表1 「住宅記事」が占める項の割合の推移(%)

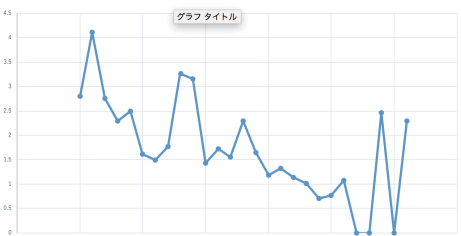


図3 「住宅記事」項数割合の変遷

1-1.～1-3.

1-4. 「住宅記事」主題の変遷

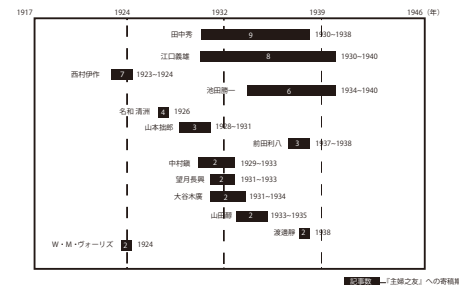
- ・便利、経済、改良
- ・住宅の建築費用(僅か○○円・○○円で出来た)
- ・規模(小さい)
- ・家族、子供
- ・流行、新出(文化的・新○○)
- ・住環境(衛生・健康・温度)
- ・設備(耐火耐震、盗難除け)
- ・住宅に対するイメージ(明るい・心地よい・苦心)
- ・様式(洋風・和風・折衷)

『主婦之友』誌において生活改善がどのように影響し、記事
を通して読者に住宅の改善が受容されていたのかを概観。
記事執筆者の割合において記者が最も多く、主婦が執筆
したものは他の分類の執筆者と比較すると数量としては少
ない。

第2章 建築家・専門家による「教示記事」

2-2. 建築家

田中秀、江口義雄、西村伊作など。
住宅作家が自身で設計した住宅に関する記述が最も
多く、1930年代初頭から半ばが最も多数の建築家により
記事が執筆された。



2-3. 記者

1917年から1929年までに住宅の紹介記事が多く掲
載されているが、1931年以降は台所についての記述や
著名人の住宅訪問の記事が見られ、特に1936年から
1946年までは生活用品に関する記事のみが確認でき
る。

2-4. 建築家以外の専門家

建築家以外の専門家が執筆した記事では、医学や工
学、家政学の面から住宅について述べるものも多く見
られ、戦時中は政府の介入が見られた。

2-5. 小結

記者の執筆した記事は、創刊直後から生活改善に
おいて模範的な住宅や住まいづくりを実行している者
を取材する形の、啓蒙的な性格を示すものが見られた
。また、建築家などの専門家に面会し実作を紹介するも
のや、記者が紹介したいと思った地域の目立つ住宅を
紹介している場合も見られた。

また、記事中の「主婦之友を参考に設計した」という発言により、読者の購買欲を高め、記者や主婦之友社側は、この両者の構断する時間を設けて生活の改善を促し定着させたと言える。